

記入例

育児休業手当金請求書

当該給付の対象となる期間を記入する。期間が2か月以上に及ぶ場合は、その各月ごとに区分する。

決定額 ※記入不要 円

401-XXXXXX	組合員氏名	防衛 花子	所属部局課 (部隊名) 連絡先電話番号	〇〇課 XXX-XXXX-XXXX (内線 XXXXX)
請求期間	〇〇〇〇年 〇月 〇日から 〇〇〇〇年 〇月 〇日まで	標準報酬	〇級 〇〇万円 (月額)	請求金額 円

育児休業等対象児が1歳に達した日以降の期間を請求する場合の理由

- ① 保育所における保育が実施されないこと
2. 養育を予定していた配偶者の死亡
3. 養育を予定していた配偶者の負傷・疾病等
4. 養育を予定していた配偶者との婚姻の解消等による別居
5. 養育を予定していた配偶者の産前産後休暇等

不明な場合は空欄

人事担当者の証明

育児休業等を承認した期間 年 月 日から 年 月 日まで

上記育児休業等に係る子の生 年 月 日

上記のとおり相違ありません。 年 月 日

証明者 官 職 氏 名

育児休業期間を延長して手当金を請求する場合は、当該期間を延長した理由を右から選択して丸を付ける。

上記のとおり請求します。

防衛省共済組合 市ヶ谷センター所属所長 殿

年 月 日

住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇〇

請求者 氏 名 防衛 花子

年 月 日から 年 月 日まで出勤しなかった期間に対して、次の金額の報酬を支払ったことを証明する。

年 月 日	間	割	円
年 月 日	間	割	円
年 月 日	間	割	円
年 月 日	間	割	円

給与事務担当者 官 職 氏 名

給与事務担当者において記入

※ 雇用保険法第17条第4項 第2号ハに定める額

雇用保険給付相当額...① (端数処理は行わない)

$$\times 30 \times \frac{50}{100} \div 22 =$$

標準報酬の月額 ÷ 22 = 標準報酬の日額 (五円未満の端数は切り捨て、五円以上十円未満の端数は十円に切り上げ) $\times \frac{50}{100} =$

今回支給日数 月分	該当日に〇印を付す				
曜日	1	8	15	22	29
	2	9	16	23	30
	3	10	17	24	31

①又は②のいずれか低い額 (1円未満切り捨て) × 支給日数 = 給付額

③ × 支給日数 = 給付額

給付額 - 控除額 = 給付決定額

振込先を選択する。公金受取口座ではなく指定の口座で受取を希望する場合は、下部に振込先を記入して振込先の分かるもの(通帳のコピー等)を添付する。

※支給開始日	※前回支給分	今回支給分
年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日まで

振込先口座 (職員名義の国内口座を記入) 公金受取口座希望 (する / しない)

(公金受取口座への振込を希望する場合は、公金受取口座の「する」を選択し、振込先は記入不要です。)

銀行 支店 普通当座 口座番号 フリガナ 名義人